

# 令和元年度宅地建物取引士試験 解答速報

2019年10月20日20:30現在

問1	1	問11	3	問21	1	問31	1	問41	1
問2	4	問12	4	問22	3	問32	4	問42	1
問3	1	問13	3	問23	2	問33	3	問43	2
問4	4	問14	3	問24	4	問34	2	問44	3
問5	2	問15	4	問25	3	問35	4	問45	1
問6	2	問16	1	問26	4	問36	2	問46	1
問7	1	問17	4	問27	1	問37	3	問47	4
問8	2	問18	2	問28	4	問38	2	問48	2
問9	4	問19	3	問29	3	問39	3	問49	3
問10	1	問20	1	問30	4	問40	2	問50	4

TACが予想する合格基準点は、36±1点です。(10/20現在)

※当解答速報はTAC独自の予想であり、解答及び合格基準点を保証するものではありません。また、後日情報を更新する場合がございます。

※この解答速報の著作権はTAC株式会社のものであり、無断転載・転用を禁じます。

**TAC** 宅建士講座

## 令和元年度宅地建物取引士試験講評

### 【全体】

●概ね、シンプルな問題が多く、全体の難易度は昨年より若干高くなり、全体の合格ラインは昨年同様か、若干下がるものと思われる。

### 【民法等】

●出題の形式面では、昨年との違いはほとんどなく、例年通り判決文型の出題もなされた。

●難しいと思われる出題もあったが、消去法で正解を導ける問題もあり、正答率の高い問題が多かった。民法等全体の合格ラインは昨年より上昇すると思われる。

●合格ラインは10点程度。

### 【法令上の制限】

●配置は、国土利用計画法が、従来と異なり、法令制限の最後に出題となった。

●基本論点を中心とした「主要6法令」からの出題であった。

●その他制限法令は、出題されなかった。

●個数・組合せ問題は出題されなかった。

●合格ラインは5点。

### 【宅建業法】

●難易度は昨年度とほぼ同じ。

●昨年の個数問題3問が6問に増加し、近時の個数問題の増加傾向に復帰した。

●オーソドックスな問題が多かった。

●合格ラインは15点。

### 【その他関連知識】

●問23～25は、全体的には平易な問題であった。但し問23は、正解肢の絞り込みに、やや悩んだところと考える。何とか他の2問を正解したい。

●問46～50は、平易な問題が多く、点数をしっかりと獲得したい。4点は充分狙えると考ええる。

●8問トータルでみると、昨年とほぼ同じで点数は取りやすかった。

●合格ラインは6点。

以上

※この講評の著作権はTAC株式会社のものであり、無断転載・転用を禁じます。